

K「テストの対象を決めて、いろんな種類の施肥をしたもののと、何もないものとの間で、成長の差を比較できるように、計画する必要がある。」

**深坂の松**

司会「深坂の松が、松くい虫の被害にあっている。何とか助けられないか。松葉や、草を取り除いて、清潔な瘦せ地に保つ必要がある。」

H「北九州に薪友の会というのがあって、まきスト

「他とのNPOとの交流も課題だから、ちょうど良い機会ですね。」

会員増強アイディア

Y 「野鳥観察、薪友の会、野草観察、桜観察ウォークィングなど、草刈のない月に企画するといいですね。」

K 「昼飯を少し豪華にする。」

司会 「いや、いつもの豚汁と握り飯おいしいですよ。」

I 「深坂に描くあなたの」

「ですかね?」  
K「結構利用されてい  
るようですよ。」

**データの記録と分析**

I「桜の枯れたのを記  
録しないといけないです  
ね。」

司会「成功例だけでな  
く失敗の例も集めて記録  
分析しなければならな  
い。」

K「系統的にしなけれ  
ばならない。モデル地区  
を作り、目標を決めて、  
もつと綿密に計画をし  
て、毎年一貫した方針で  
いかねばならない。」

N「今度、NPO法人化して、桜以外のことも明確になつたので、これからその点を強調することにしています。」

K「桜にこだわる会員生いるのだから、それはそれで良いのではないだろうか？」

司会「いろいろなことをしても、始まりは桜だったのだから、名前はそのままで良いと思うし、変えるにしても今のことでなくしてずっと先のことでしたよ

すい。以前にはあつたのが  
が消えてしまった。」  
Ｋ「復活できないですか  
ねえ。」  
Ｈ「蘭は菌細菌との共生  
だから、移植してもなかなか  
かつかない。」  
司会「現地の農家とも話  
し合いたいですね。蘭の復  
活にも挑戦したいですね。  
話はまだまだ尽きないよ  
うですが、大分時間をオー  
バーしました。機会があつ  
たら、また語り合いたいと  
思います。本日は本当にあ  
りがとうございました。」

信  
新  
聞  
の  
影  
の  
発  
行  
者  
。さ  
くら  
通  
ン  
兼  
編  
集  
長  
。平  
野  
正  
深  
坂  
は  
も  
と  
よ  
り  
自  
然  
の  
愛  
好  
家  
。植  
物  
に  
造  
詣  
が  
深  
く  
、山  
桜  
の  
礼  
贊  
者  
。大  
陸  
か  
ら  
引  
き  
上  
げ  
て  
日  
本  
の  
山  
桜  
を  
初  
め  
て  
見  
た  
記  
憶  
が  
原  
点  
。

H「そういうえば、松などは、やせた土地の方が良い。肥えていると、他の植物が茂つて、松が負けてしまう。」

E M

I「EMなどはどうだろう？」

司会「EM（イフェクティブ・マイクロ・オーガニクス、有用微生物）の略で、EMばかりのより純粋なものと思えばよいと思う。今年度は、予算をつけて、テストすることになっている。本当は、松くい虫で弱っている松の再生に試したいが、もちろん桜にもテストする。」

H「HB 101という

「才を持った人た  
ちがいる。」  
「先日、深坂で、枯  
れ枝の集積所に車で集  
めに来ていた人がいた。  
家には薪の暖炉がある  
とのことだった。チラシ  
を上げたら、そんな会が  
あるならぜひ入りたいと  
いわれた。」

「チラシを森の家や、  
竜王山の登山道の入り口  
などに、箱を作つて入れ  
ておいたらどうだろ?」  
「サンデー下関など  
に、広告を載してくれな  
いだろうか?」

「夫人、野鳥の観察会が  
あつたので、そこに申し  
込みをしていたら、関連  
のボランティア団体か  
ら、勧誘がきた。さくら  
友の会も野鳥の観察会を

A scenic view of a mountainous area, likely Mount Tsurumi, featuring dense green trees and shrubs covering the slopes under a clear blue sky.

ビオトープ H「深坂バイパスを内日に抜けるところにあるビオトープを復活できないか?」  
S「内日の水源地に行く手前は、元は水があつて葦が生えていて、水を清浄化する能力があつたが、住民の農家から苦情が出て、水道局が年に一回位草刈をしている。」  
司会「農家の苦情は何のため?」  
S「イノシシが来て暴れまくる。体についた虫を取り除くために、土浴して体を葦などに擦り付ける。」  
司会「イノシシの風呂ですね。」  
H「水があると、キンランとかギンランが育ちや

**和泉昭夫** 桜の手入れに超熱心。倒れた桜の代りにH一七年に植えた木が、もう十一年の平均に追いついてきているのが自慢。

**城戸哲郎** 会員交流部会長、他いろいろ兼務、今度の吉野研修ソアーノ企画も同氏によるもの。

**下川勇作** 維持管理部会で深坂の桜の管理の地図他、データの管理を一手に担当。

**西川浩子** 事務局長で一切の事務を担当。その電話応対の柔らかさに魅せられて会員になつた人もいる。

**野口周三** 広報部長だが、記者兼、カメラマ

由に充分に發揮してください。よろしくお願ひします。」  
Y「深坂の森の珍しい植物に立て札をつけて紹介したらしいですね。」  
S「写真を撮って森の家に展示して紹介したいですね。」  
I「珍しい植物だけに限らず、植物の群落を育て、ゼニのかからない、小さいネームプレートをつけたら良いと思つ。」  
司会「現場にラベルといふのも良いですが、QRコードを現場に貼り付けておき、ケイタイ電話で読み取つて表示されるようにしたいと思つています。」

り、植物に関心の薄い人たちの関心を高める方を重んじたい。」  
Y夫人「深坂にはどれくらい珍しい植物があるのですか?」  
H「それほど珍しいものはないかも知れないが、二つの間のフユノハナワラビなどは値段がつきます。」  
司会「監視カメラをつけたらという考え方もあるが、監視カメラごとを盗まれるということもある。」  
K「話しあは変わるが、頻繁に草刈りしていると、植物の生態系が変わるんじゃないですか?」  
H「それは変わります。」  
K「黄色いツワブキの花をよく見かけるようになつたのは、草刈するから、

中に、発見できるかもしない。しかし、年季が入らんとダメですね。前もつてどんな植物が咲いているか知つておかねばならない。」

司会「それはできないことはない。去年の今頃咲いていた花を2~3紹介すればいい。」

「北九州の白野江植物公園をご存知だろうか？深坂の森には、もつといろんな種類の桜を植えたい。今咲いている十月桜、河津桜、寒緋桜、桜餅の葉を取る八重桜など。山桜の場合は木も太くなるのが早い。」

N 「去年から、少し種類を増やしている。山桜、大島桜も植えまし

司会「しかし、成長が大きすぎると、根の張り方に比べて、地上部分の幹が大きくなり風で倒れ易くなりませんか?」  
H「それはないだろ。根も大きくなるだろ。  
」  
司会「土壤が肥えてい  
ること、根が大きくなくて必要な栄養分が吸収  
できるから、起こり得る  
」  
H「なるほど」  
司会「白川杉を見たが、  
地上部分は、高いところに少し枝を残して、低いところは枝打ちしてあ



# 新春座談会

100

司会「ビフォーアフター」というＴＶの番組がありますね。あれをもじつてプレゼント＆フェーチャーとしました。深坂の森や「さくら友の会」の活動について、将来どうしたいという思いや夢を語り合いたいと思います。人間には、夢を描く能力が神から与えられている

ツワブキは海岸から十キ  
ロ以内でないと見かけま  
せん。」  
「そうですね。内陸  
で育ったわたしは安岡に  
来るまでツワブキを見た  
ことがありますんでし  
た。」  
「夫人、さくら新聞に  
植物を紹介していくたら  
いい。」  
「簡単なものでいい  
ですね。そして、作業前  
に配ると良いですね。そ

S-「この頃はそのまま植えられるポットがある。」  
Y夫人「見晴台には、どれ位の本数が植えられるのですか?」  
「原っぱには植えられないでしよう。原っぱを取り囲むように周囲に植えると四、五十本くらい?」

司会「原っぱの部分にも、一〇~二〇mぐらいの広い間隔なら良いのではないか。」(会場にて)

司会「少し成長してき  
からオーナー募集す  
ばよい。」